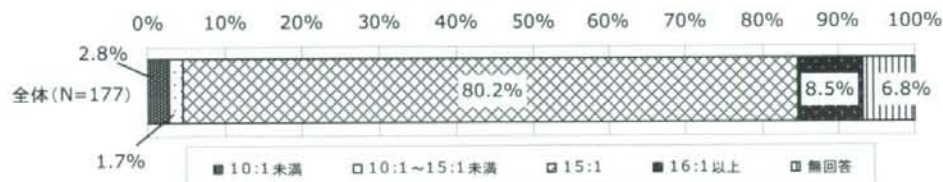


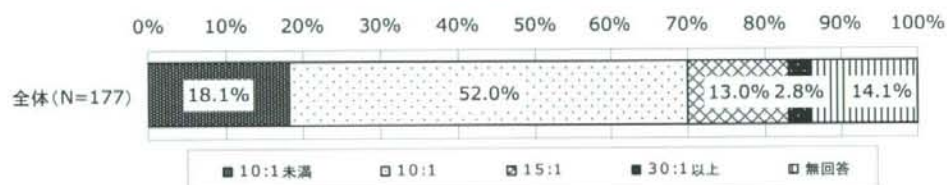
### (3) 看護実質配置

精神科病棟の看護師の実質配置（平成 21 年 2 月 1 日現在）をみると、平均 15.0 : 1 であった。看護配置の構成をみても「15 : 1」の配置をとっている施設が 80.2% であった。また、看護補助職員の実質配置をみると、平均 10.8 : 1 であった。

図表 2-3-4 精神科病棟の看護実質配置の状況



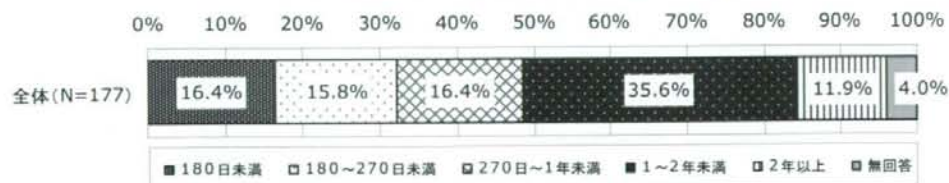
図表 2-3-5 精神科病棟の看護補助実質配置の状況



### (4) 平均在院日数

精神科病棟の平均在院日数をみると、平均 437.4 日であった。平均在院日数の構成では「1～2年未満」35.6%が最も多く、次いで「270日～1年未満」「180日未満」16.4%などとなっていた。

図表 2-3-6 精神科病棟の平均在院日数の状況



## (5) 1施設当たり精神科訪問看護担当職員数の状況

精神科訪問看護を担当する常勤換算職員数（平成21年2月1日現在）についてみると、1施設当たり平均6.21人（看護職員3.55人、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士0.60人、精神保健福祉士1.90人、その他の職員0.15人）であった。

図表 2-3-7 1施設当たり常勤換算職員数

|               | 職員数   | 割合     |
|---------------|-------|--------|
| 看護職員          | 3.55人 | 57.3%  |
| （うち）PSW 資格保有者 | 0.31人 | 5.0%   |
| PT・OT・ST      | 0.60人 | 9.7%   |
| 精神保健福祉士       | 1.90人 | 30.7%  |
| その他の職員        | 0.15人 | 2.4%   |
| 合計            | 6.21人 | 100.0% |

注. 6施設が無回答であったため、171施設での集計

図表 2-3-8 看護職員数規模別にみた施設数の構成



## 2) 精神科訪問看護の実施状況

### (1) 1施設当たり利用者数・延訪問回数などの状況

回答施設 177 施設中 98.9% (残り 1.1%は無回答) の 175 施設で精神科訪問看護を実施していた。ただし、以下は、主傷病別利用者数等の利用者数内訳の全項目に有効回答のあった 148 施設での集計結果である。

平成 20 年 8 月 1 日から平成 21 年 1 月 31 日までの 6 カ月間における精神科訪問看護の実施利用者数や延訪問回数などをみたものが図表 2-3-9 である。

精神科訪問看護の実施利用者数(実人数)は、精神科訪問看護・指導料Ⅰの利用者は 1 施設当たり平均 68.69 人であった。また、精神科訪問看護・指導料Ⅱの利用者は平均 5.32 人、精神科訪問看護・指導料Ⅰ及びⅡ以外の利用者は平均 0.43 人であった。

利用者数の多い精神科訪問看護・指導料Ⅰについてみると、複数名による訪問を実施した利用者数(実人数)は、1 施設当たり平均 40.46 人(58.9%)であった。

また、利用者の主傷病をみると「統合失調症」76.8%が最も多く、次いで「気分障害(うつ病、躁うつ病)」10.6%、「その他」4.2%などであった。

延べ訪問回数は 1 施設当たり平均 573.88 回で、そのうち複数名による訪問は平均 296.84 回(51.7%)であった。

図表 2-3-9 1 施設当たり精神科訪問看護の実施利用者数、延訪問回数

|                     | 精神科訪問看護・指導料 |        |         |        | 左記以外   |        |
|---------------------|-------------|--------|---------|--------|--------|--------|
|                     | Ⅰ           |        | Ⅱ       |        |        |        |
|                     | 人数          | 割合     | 人数      | 割合     | 人数     | 割合     |
| 精神科訪問看護の実施利用者数      | 68.69 人     | 100.0% | 5.32 人  | 100.0% | 0.43 人 | 100.0% |
| (うち) 複数名訪問した利用者数    | 40.46 人     | 58.9%  | 1.72 人  | 32.3%  | 0.08 人 | 18.8%  |
| (うち) 過去 1 年間に入院経験あり | 11.99 人     | 17.5%  | 0.78 人  | 14.6%  | 0.06 人 | 14.1%  |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 8.25 人      | 12.0%  | 0.43 人  | 8.0%   | 0.01 人 | 1.6%   |
| 主傷病                 | 52.74 人     | 76.8%  | 4.61 人  | 86.8%  | 0.39 人 | 89.1%  |
| 統合失調症               | 52.74 人     | 76.8%  | 4.61 人  | 86.8%  | 0.39 人 | 89.1%  |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 30.22 人     | 44.0%  | 1.40 人  | 26.3%  | 0.08 人 | 18.8%  |
| 気分障害(うつ病、躁うつ病)      | 7.26 人      | 10.6%  | 0.34 人  | 6.5%   | 0.01 人 | 3.1%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 4.78 人      | 7.0%   | 0.23 人  | 4.3%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| 依存症                 | 2.53 人      | 3.7%   | 0.13 人  | 2.4%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 1.66 人      | 2.4%   | 0.05 人  | 0.9%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| 神経症性障害およびパーソナリティ障害  | 2.33 人      | 3.4%   | 0.05 人  | 1.0%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 1.46 人      | 2.1%   | 0.03 人  | 0.5%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| 発達障害                | 0.96 人      | 1.4%   | 0.03 人  | 0.6%   | 0.01 人 | 1.6%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 0.58 人      | 0.8%   | 0.01 人  | 0.1%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| その他                 | 2.86 人      | 4.2%   | 0.14 人  | 2.7%   | 0.03 人 | 6.3%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 1.76 人      | 2.6%   | 0.01 人  | 0.1%   | 0.00 人 | 0.0%   |
| 精神科訪問看護の延訪問回数       | 573.88 回    | 100.0% | 34.22 回 | 100.0% | 6.51 回 | 100.0% |
| (うち) 複数名での延訪問回数     | 296.84 回    | 51.7%  | 3.80 回  | 11.1%  | 0.20 回 | 3.1%   |

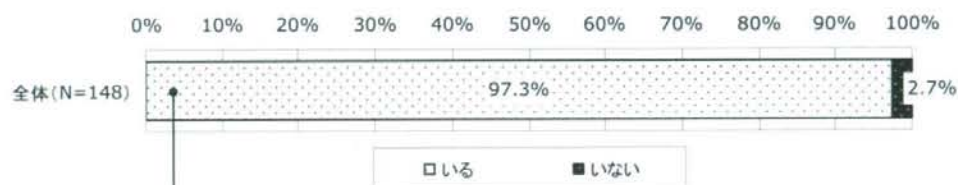
注. 有効回答のあった 148 施設での集計

次に、精神科訪問看護を実施している施設のうち、退院前訪問看護指導の利用者の有無についてみてみると、精神科訪問看護・指導料Ⅰの利用者がいる144施設（有効回答のあった148施設中97.3%）において、退院前訪問看護指導を実施した利用者が「いる」と回答した施設は65.3%であった。

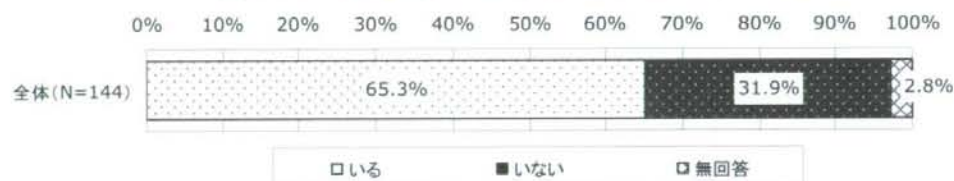
精神科訪問看護・指導料Ⅱの利用者がいる49施設（有効回答のあった148施設中33.1%）において、退院前訪問看護指導を実施した利用者が「いる」と回答した施設は34.7%であった。

精神科訪問看護・指導料Ⅰ及びⅡ以外の利用者がいる7施設（有効回答のあった148施設中4.7%）において、退院前訪問看護指導を実施した利用者が「いる」と回答した施設は57.1%であった。

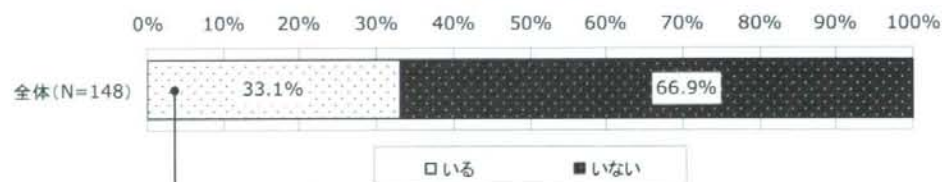
図表 2-3-10 精神科訪問看護・指導料Ⅰの利用者の有無



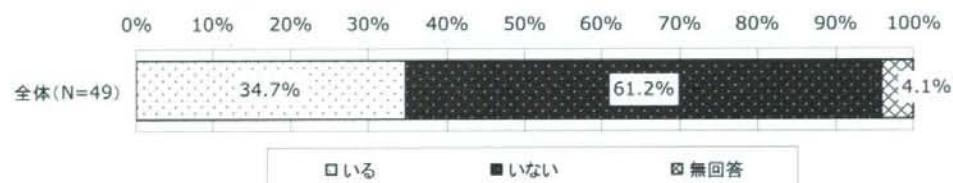
図表 2-3-11 退院前訪問看護指導を実施した利用者の有無



図表 2-3-12 精神科訪問看護・指導料Ⅱの利用者の有無



図表 2-3-13 退院前訪問看護指導を実施した利用者の有無

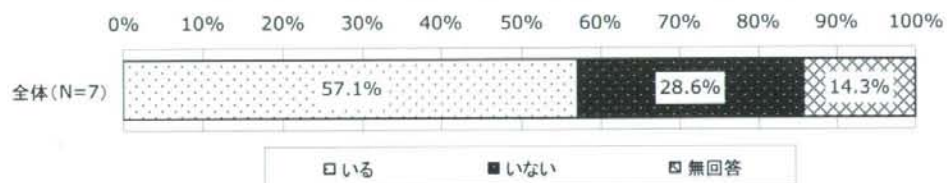




図表 2-3-14 精神科訪問看護・指導料 I・II 以外の利用者の有無



図表 2-3-15 退院前訪問看護指導を実施した利用者の有無



## (2) 複数名訪問をしている施設の1施設当たり利用者数などの状況

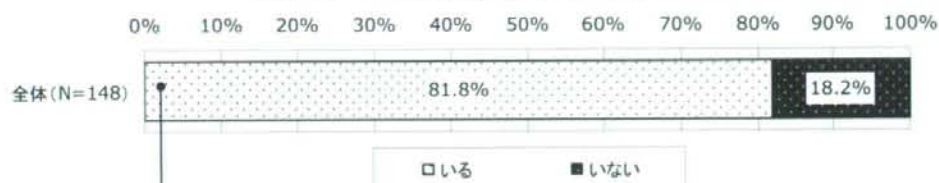
平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間に複数名訪問を実施している施設は121施設(148施設中81.8%)であった。

複数名訪問を実施している施設のみについて、精神科訪問看護の実施利用者数や延訪問回数などをみたものが図表2-3-17である。

利用者数の多い精神科訪問看護・指導料Ⅰについてみると、精神科訪問看護の実施利用者数(実人数)は、1施設当たり平均72.17人であった。また、複数名による訪問を実施した利用者数(実人数)は、1施設当たり平均49.49人(68.6%)であった。

延べ訪問回数は1施設当たり平均588.71回で、そのうち複数名による訪問は平均363.08回(61.7%)であった。

図表 2-3-16 複数名訪問を実施した利用者の有無



図表 2-3-17 1施設当たり精神科訪問看護の実施利用者数等【複数名訪問の実施施設のみ】

|                     | 精神科訪問看護・指導料 |        |        |        | 左記以外  |        |
|---------------------|-------------|--------|--------|--------|-------|--------|
|                     | Ⅰ           |        | Ⅱ      |        |       |        |
|                     | 人数          | 割合     | 人数     | 割合     | 人数    | 割合     |
| 精神科訪問看護の実施利用者数      | 72.17人      | 100.0% | 4.65人  | 100.0% | 0.22人 | 100.0% |
| (うち) 複数名訪問した利用者数    | 49.49人      | 68.6%  | 2.10人  | 45.1%  | 0.10人 | 44.4%  |
| (うち) 過去1年間以内に入院経験あり | 13.34人      | 18.5%  | 0.81人  | 17.4%  | 0.02人 | 7.4%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 10.01人      | 13.9%  | 0.51人  | 11.0%  | 0.01人 | 3.7%   |
| 統合失調症               | 54.91人      | 76.1%  | 3.98人  | 85.6%  | 0.22人 | 100.0% |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 36.97人      | 51.2%  | 1.71人  | 36.8%  | 0.10人 | 44.4%  |
| 気分障害(うつ病、躁うつ病)      | 7.92人       | 11.0%  | 0.37人  | 8.0%   | 0.00人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 5.84人       | 8.1%   | 0.28人  | 6.0%   | 0.00人 | 0.0%   |
| 依存症                 | 2.66人       | 3.7%   | 0.09人  | 2.0%   | 0.00人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 2.03人       | 2.8%   | 0.06人  | 1.2%   | 0.00人 | 0.0%   |
| 神経症性障害およびパーソナリティ障害  | 2.62人       | 3.6%   | 0.05人  | 1.1%   | 0.00人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 1.79人       | 2.5%   | 0.03人  | 0.7%   | 0.00人 | 0.0%   |
| 発達障害                | 1.05人       | 1.5%   | 0.02人  | 0.5%   | 0.00人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 0.71人       | 1.0%   | 0.01人  | 0.2%   | 0.00人 | 0.0%   |
| その他                 | 3.01人       | 4.2%   | 0.13人  | 2.8%   | 0.00人 | 0.0%   |
| (うち) 複数名訪問した利用者     | 2.15人       | 3.0%   | 0.01人  | 0.2%   | 0.00人 | 0.0%   |
| 精神科訪問看護の延訪問回数       | 588.71回     | 100.0% | 29.88回 | 100.0% | 0.29回 | 100.0% |
| (うち) 複数名での延訪問回数     | 363.08回     | 61.7%  | 4.64回  | 15.5%  | 0.25回 | 85.7%  |

注. 有効回答のあった148施設での集計

図表 2-3-18 主傷病別にみた複数名訪問看護の実施割合

|                    | 精神科訪問看護・指導科 |       | 左記以外  |
|--------------------|-------------|-------|-------|
|                    | I           | II    |       |
| 依存症                | 76.4%       | 63.6% | —     |
| 気分障害（うつ病、躁うつ病）     | 73.8%       | 75.6% | —     |
| 神経症性障害およびパーソナリティ障害 | 68.1%       | 66.7% | —     |
| 発達障害               | 67.7%       | 33.3% | —     |
| 統合失調症              | 67.3%       | 42.9% | 44.4% |
| その他                | 71.4%       | 6.3%  | —     |

注. 有効回答のあった 148 施設での集計

### (3) 1 事業所当たり利用者数・延訪問回数の推移

平成 20 年 8 月から平成 21 年 1 月までの各月における精神科訪問看護の実施状況を見ると、精神科訪問看護の新規利用者数の割合が 3.7% から 5.0% の幅で変動しているのに対して、複数名訪問看護の訪問延回数の割合は 57.9% から 58.8% の幅で推移していたが、新規利用者数の割合が増加した月に複数名訪問の回数の割合が減少しているなど、二者の間に相関はみられなかった。

図表 2-3-19 1 施設当たり利用者数・延訪問回数の推移

|                   | 8 月      | 9 月      | 10 月     | 11 月     | 12 月     | 1 月      |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 精神科訪問看護の実施利用者数    | 40.74 人  | 41.34 人  | 42.47 人  | 41.96 人  | 42.28 人  | 41.68 人  |
| （うち）新規に開始した利用者数   | 1.55 人   | 1.55 人   | 1.69 人   | 2.08 人   | 1.98 人   | 1.94 人   |
| 新規に開始した利用者数の割合    | 3.8%     | 3.7%     | 4.0%     | 5.0%     | 4.7%     | 4.7%     |
| 精神科訪問看護の延べ訪問回数    | 108.28 回 | 112.09 回 | 121.09 回 | 109.31 回 | 114.55 回 | 109.54 回 |
| （うち）複数名訪問した延べ訪問回数 | 63.60 回  | 65.74 回  | 71.21 回  | 63.26 回  | 66.36 回  | 63.84 回  |
| 複数名訪問した延べ訪問回数の割合  | 58.7%    | 58.6%    | 58.8%    | 57.9%    | 57.9%    | 58.3%    |

注. 有効回答のあった 148 施設での集計

## 第3章 複数名による精神科訪問看護の実施状況

### 1. 訪問看護ステーション

#### 1) 利用者の属性

##### (1) 性別・年齢

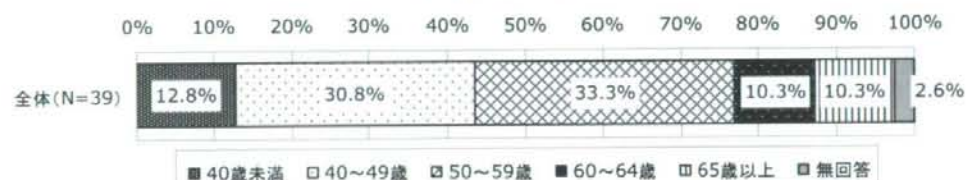
平成20年8月1日から平成21年1月31日までの6カ月間に、回答事業所が複数名による精神科訪問看護を実施した利用者39名の属性についてみる。

性別は「男性」61.5%、「女性」38.5%であった。また、平均年齢は51.3歳であり、「50～59歳」33.3%、「40～49歳」30.8%などとなっていた。

図表 3-1-1 性別



図表 3-1-2 年齢



##### (2) 精神疾患の状況

###### ① 診断名

診断名（副たる診断名を含む）についてみると、「統合失調症」74.4%が最も多く、次いで「その他」17.9%、「依存症」12.8%などとなっていた。

図表 3-1-3 診断名【MA】

|             | 利用者数 | 割合    |
|-------------|------|-------|
| 統合失調症       | 29人  | 74.4% |
| 依存症         | 5人   | 12.8% |
| 発達障害        | 4人   | 10.3% |
| 気分障害        | 2人   | 5.1%  |
| 神経症性障害、人格障害 | 2人   | 5.1%  |
| その他         | 7人   | 17.9% |
| 総数          | 39人  |       |



## ② 主たる診断名

次に、主たる診断名についてみると、「統合失調症」71.8%が最も多く、次いで「その他」10.3%、「依存症」7.7%などとなっていた。

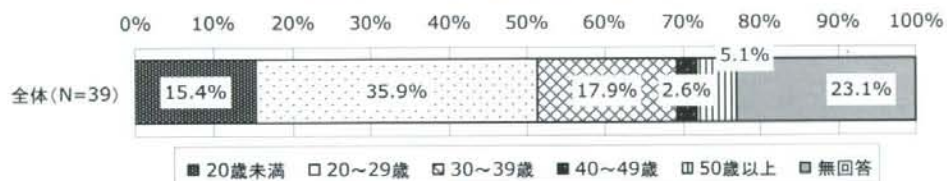
図表 3-1-4 主たる診断名

|             | 利用者数 | 割合     |
|-------------|------|--------|
| 統合失調症       | 28人  | 71.8%  |
| 依存症         | 3人   | 7.7%   |
| 神経症性障害、人格障害 | 2人   | 5.1%   |
| 気分障害        | 1人   | 2.6%   |
| 発達障害        | 0人   | 0.0%   |
| その他         | 4人   | 10.3%  |
| 無回答         | 1人   | 2.6%   |
| 合計          | 39人  | 100.0% |

## ③ 主たる精神疾患の発症年齢

主たる精神疾患の発症年齢は平均 25.8 歳であった。「20～29 歳」35.9%が最も多く、次いで「30～39 歳」17.9%、「20 歳未満」15.4%などとなっていた。

図表 3-1-5 主たる精神疾患の発症年齢

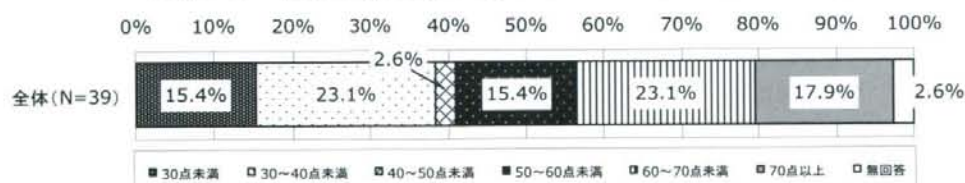


## (3) 症状の程度・状態像

### ① 機能の全体的評価尺度 (Global Assessment of Functioning)

機能の全体的評価尺度 (Global Assessment of Functioning) の平均得点は 48.21 点であった。「30～40 点未満」「60～70 点未満」23.1%が最も多く、次いで「70 点以上」17.9%などとなっていた。

図表 3-1-6 機能の全体的評価尺度 (Global Assessment of Functioning)



## ② 社会行動評価尺度 (Social Behaviour Schedule : SBS)

社会行動評価尺度 (Social Behaviour Schedule : SBS) の 21 項目 (合計 0~78 点) の合計得点は平均 18.97 点であった。「10~20 点未満」35.9%が最も多く、次いで「20~30 点未満」25.6%、「10 点未満」20.5%などとなっていた。

図表 3-1-7 社会行動評価尺度 (Social Behaviour Schedule : SBS)

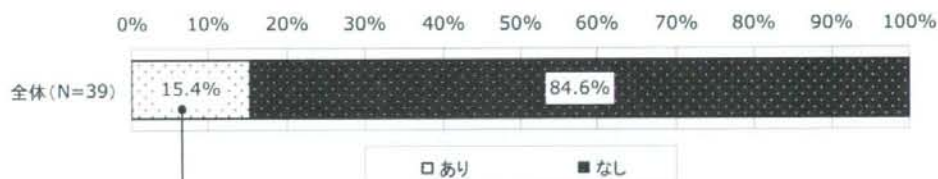


## (4) 合併症の状況

### ① 糖尿病

糖尿病の合併の有無をみると「あり」が 15.4%であった。また、糖尿病を合併している者の 50.0%が服薬又はインスリン注射を行っていた。

図表 3-1-8 糖尿病の合併の有無



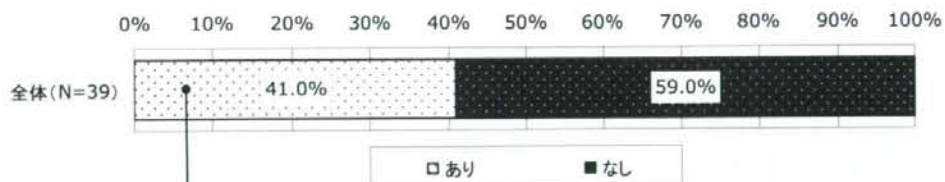
図表 3-1-9 服薬又はインスリン注射の有無



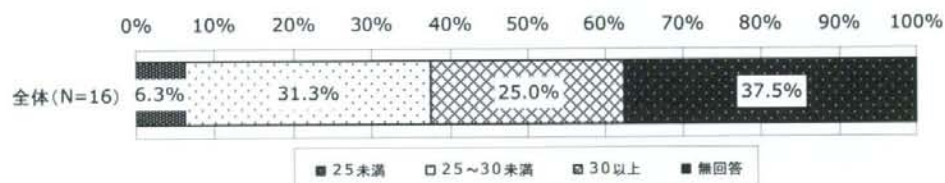
## ② 肥満

肥満について「あり」が41.0%であった。肥満の者のBMIは平均29.04であった。

図表 3-1-10 肥満の有無



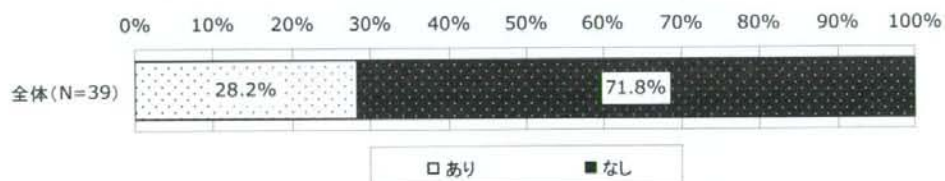
図表 3-1-11 BMI の状況



## ③ その他の合併症

その他の合併症について「あり」が28.2%であった。

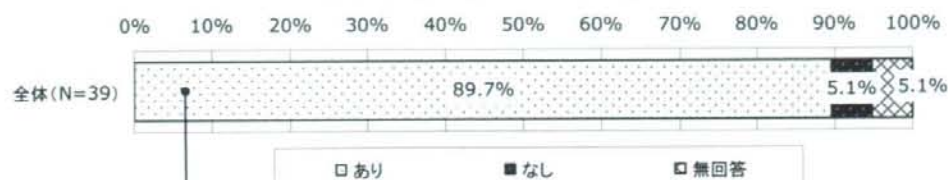
図表 3-1-12 その他の合併症の有無



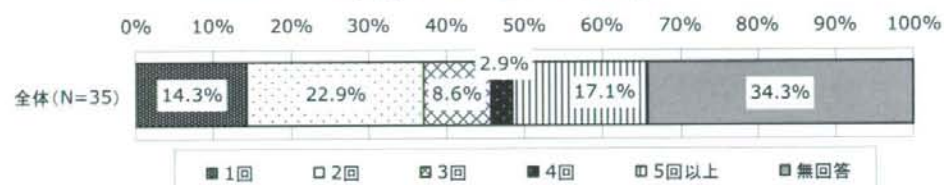
### (5) 精神科入院の状況

過去の精神科入院経験について「あり」が89.7%で、平均入院回数は3.83回であった。また、過去1年間の精神科入院経験については「あり」が35.9%で、平均入院回数は1.17回であった。

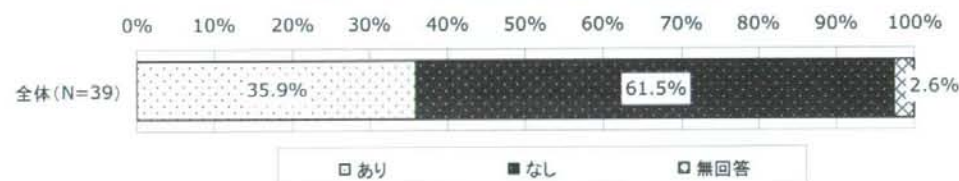
図表 3-1-13 過去の精神科入院経験



図表 3-1-14 過去の入院回数



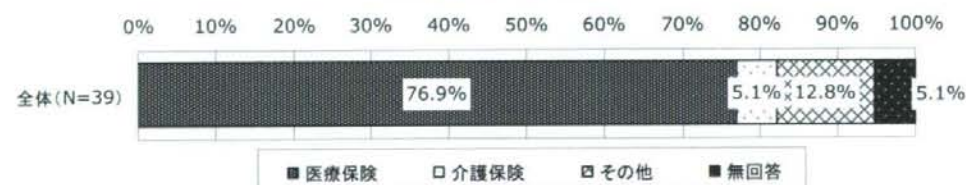
図表 3-1-15 過去1年間の精神科入院経験



### (6) 保険の種類・自立支援医療の利用の有無

保険の種類としては「医療保険」が76.9%であった。また、自立支援医療については74.4%が利用していた。

図表 3-1-16 保険の種類



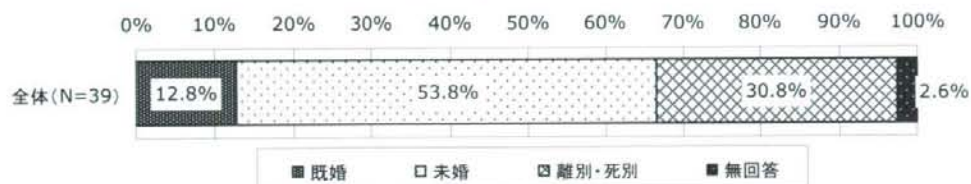


## (7) 婚姻・居住・就労の状況

### ① 婚姻状況

婚姻状況を見ると「未婚」53.8%、「離別・死別」30.8%などであった。

図表 3-1-17 婚姻



### ② 居住形態

居住形態は「独居」61.5%、「同居者あり」35.9%であった。

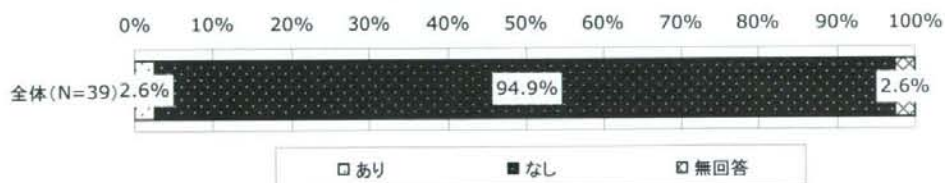
図表 3-1-18 居住形態



### ③ 就労状況

就労の状況としては「(就労)なし」が94.9%であった。

図表 3-1-19 就労状況



## 2) 精神科訪問看護の実施状況

## (1) 訪問看護の利用を開始してからの期間

訪問看護の利用を開始してからの期間をみると、「1年未満」28.2%が最も多く、次いで「1～2年未満」25.6%、「5年以上」17.9%などとなっていた。



## (2) 過去3カ月の訪問看護の実施状況

平成20年11月から平成21年1月までの3カ月間における訪問看護の実施状況を見ると、利用者平均で1カ月当たり5.30回の訪問看護を実施しており、そのうち2.72回は複数名による訪問であった。

また、複数名訪問における職種の組み合わせをみると、複数名訪問2.72回のうち、複数名の看護師による訪問が2.16回(79.4%)、看護師とその他の職員による訪問が0.56回(20.6%)であった。

図表 3-1-21 過去3カ月の訪問看護の実施状況

|                     | 11月   | 12月   | 1月    | 平均    |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| 総訪問回数               | 4.74回 | 5.46回 | 5.69回 | 5.30回 |
| （うち）複数名による訪問回数      | 2.54回 | 2.66回 | 2.97回 | 2.72回 |
| （うち）複数名の看護師での訪問回数   | 2.06回 | 2.11回 | 2.31回 | 2.16回 |
| （うち）看護師とその他職員での訪問回数 | 0.49回 | 0.54回 | 0.66回 | 0.56回 |

注. 有効回答のあった利用者35人分での集計

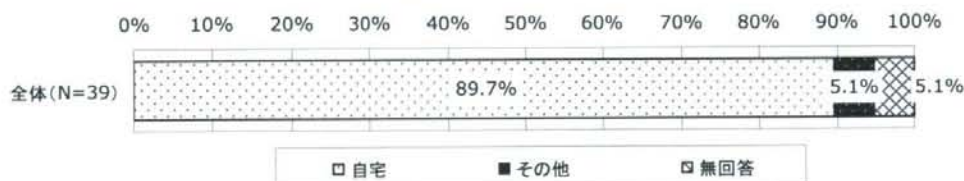
### (3) 調査時の訪問看護の実施状況

以下では、平成21年1月1カ月間における訪問看護の実施状況をみる。

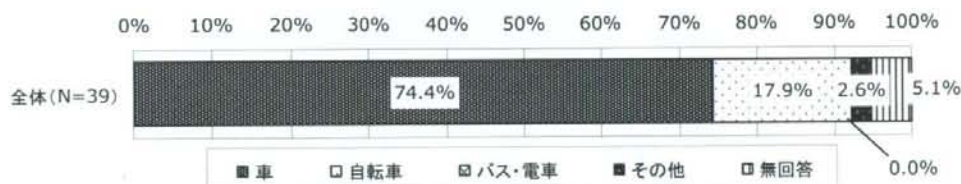
#### ① 訪問先・移動手段

訪問先としては「自宅」が89.7%であった。訪問先までの移動手段は「車」74.4%、「自転車」17.9%であり、平均移動時間は14.8分であった。

図表 3-1-22 訪問先



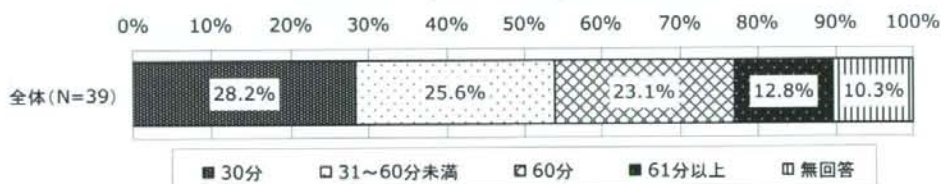
図表 3-1-23 移動手段



#### ② 訪問1回当たりの滞在時間

訪問1回当たりの平均滞在時間は51.9分であった。「30分」28.2%が最も多く、次いで「31～60分未満」25.6%、「60分」23.1%などとなっていた。

図表 3-1-24 訪問1回当たり平均滞在時間



## ③ 電話相談

電話相談の状況を見ると、「本人から」が 38.5%であった。本人からの電話相談は 1カ月当たり平均 9.50 回、47.57 分の相談があった。一方で、「(電話相談) なし」も 38.5%であった。

図表 3-1-25 電話相談の状況【MA】

|      | 利用者数 | 割合    | 平均回数/月 | 平均時間/月 |
|------|------|-------|--------|--------|
| 本人から | 15人  | 38.5% | 9.50回  | 47.57分 |
| 家族から | 5人   | 12.8% | 2.00回  | 11.50分 |
| その他  | 8人   | 20.5% | 5.14回  | 48.57分 |
| なし   | 15人  | 38.5% |        |        |
| 無回答  | 4人   | 10.3% |        |        |
| 総数   | 39人  |       |        |        |

## ④ 回答事業所による訪問看護以外に利用しているサービス

回答事業所による訪問看護以外に利用しているサービスとしては、「ホームヘルプサービス」28.2%が最も多く、次いで「その他」17.9%、「デイケア、デイナイトケア、ナイトケア」10.3%などであった。ホームヘルプサービスは、週当たり平均 3.10 回の利用であった。

図表 3-1-26 回答事業所による訪問看護以外に利用しているサービス【MA】

|                    | 利用者数 | 割合    | 平均回数/週 |
|--------------------|------|-------|--------|
| デイケア、デイナイトケア、ナイトケア | 4人   | 10.3% | 3.25回  |
| グループホームなど共同住居での援助  | 1人   | 2.6%  | -      |
| 作業所など日中の活動の場       | 2人   | 5.1%  | 1.50回  |
| 地域生活支援センターなど集う場所   | 1人   | 2.6%  | 1.00回  |
| 就労支援               | 2人   | 5.1%  | 3.50回  |
| ホームヘルプサービス         | 11人  | 28.2% | 3.10回  |
| 回答事業所以外からの訪問看護     | 0人   | 0.0%  | 0.00回  |
| その他                | 7人   | 17.9% | 3.20回  |
| 総数                 | 39人  |       |        |



### 3) 複数名訪問の必要性

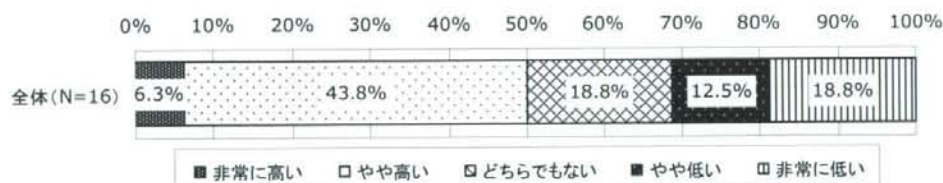
最近の複数名訪問時に複数名による訪問が必要だった理由としては、「暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため」「複数の看護師によるアセスメントが必要だったため」が41.0%で最も多かった。

また、「暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため」との回答者からは、身体的暴力、言葉による暴力、セクシャルハラスメント、拒否・拒絶の可能性のいずれについても「やや高い」との回答が多くなっていた。

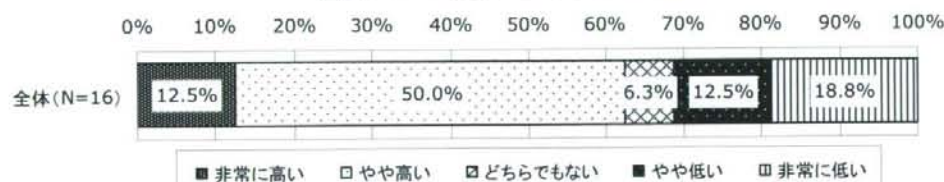
図表 3-1-27 複数名訪問が必要だった理由【MA】

|  | 利用者数 | 割合    |
|--|------|-------|
| 暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため       | 16人  | 41.0% |
| 病状が重篤、又は不安定で、多くのケアが必要だったため             | 11人  | 28.2% |
| 家族の精神的負担を軽減するためのサポートが必要だったため           | 5人   | 12.8% |
| 複数の看護師によるアセスメントが必要だったため                | 16人  | 41.0% |
| OT又はPTによるリハビリ、アセスメント、プログラムの見直しが必要だったため | 0人   | 0.0%  |
| 精神保健福祉士による相談、ソーシャルワークが必要だったため          | 5人   | 12.8% |
| 日常生活援助で多くのマンパワーが必要であったため               | 6人   | 15.4% |
| 利用者と家族に対して、別々のスタッフが担当し援助する必要があったため     | 3人   | 7.7%  |
| 新しいスタッフとの顔つなぎのため                       | 11人  | 28.2% |
| その他                                    | 4人   | 10.3% |
| 無回答                                    | 2人   | 5.1%  |
| 総 数                                    | 39人  |       |

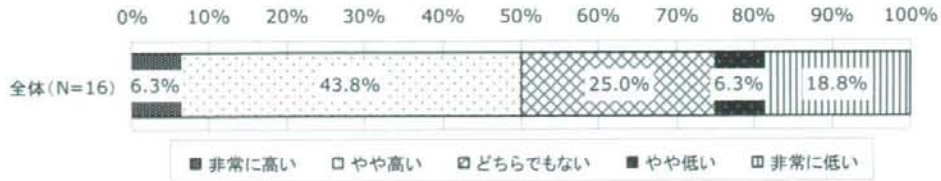
図表 3-1-28 身体的な暴力の可能性



図表 3-1-29 言葉による暴力の可能性



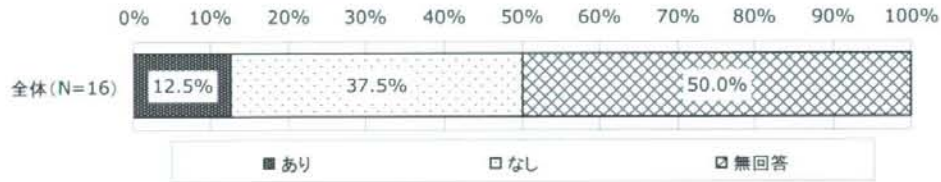
図表 3-1-30 セクシャルハラスメントの可能性



図表 3-1-31 拒否・拒絶の可能性



図表 3-1-32 その他の問題行動の可能性



最近の複数名訪問時に複数名による訪問が必要だった理由について、訪問看護の利用期間別（1年未満、1年以上）にみると、1年未満の利用者では「複数の看護師によるアセスメントが必要だったため」「病状が重篤、又は不安定で、多くのケアが必要だったため」36.4%が最も多く、次いで「暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため」27.3%であった。

また、訪問看護の利用期間が1年以上の利用者については、「暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため」46.2%が最も多く、次いで「複数の看護師によるアセスメントが必要だったため」42.3%であった。

図表 3-1-33 複数名訪問が必要だった理由；訪問看護の利用期間別【MA】

|  | 利用者数 |      | 割合    |       |
|--|------|------|-------|-------|
|  | 1年未満 | 1年以上 | 1年未満  | 1年以上  |
| 暴力・暴言・セクハラ等からのスタッフの安全確保が必要であったため       | 3人   | 12人  | 27.3% | 46.2% |
| 複数の看護師によるアセスメントが必要だったため                | 4人   | 11人  | 36.4% | 42.3% |
| 病状が重篤、又は不安定で、多くのケアが必要だったため             | 4人   | 7人   | 36.4% | 26.9% |
| 新しいスタッフとの顔つなぎのため                       | 2人   | 8人   | 18.2% | 30.8% |
| 日常生活援助で多くのマンパワーが必要であったため               | 3人   | 3人   | 27.3% | 11.5% |
| 家族の精神的負担を軽減するためのサポートが必要だったため           | 1人   | 4人   | 9.1%  | 15.4% |
| 精神保健福祉士による相談、ソーシャルワークが必要だったため          | 0人   | 5人   | 0.0%  | 19.2% |
| 利用者と家族に対して、別々のスタッフが担当し援助する必要があったため     | 0人   | 3人   | 0.0%  | 11.5% |
| OT又はPTによるリハビリ、アセスメント、プログラムの見直しが必要だったため | 0人   | 0人   | 0.0%  | 0.0%  |
| その他                                    | 2人   | 2人   | 18.2% | 7.7%  |
| 無回答                                    | 1人   | 1人   | 9.1%  | 3.8%  |
| 総数                                     | 11人  | 26人  |       |       |

## 2. 病院

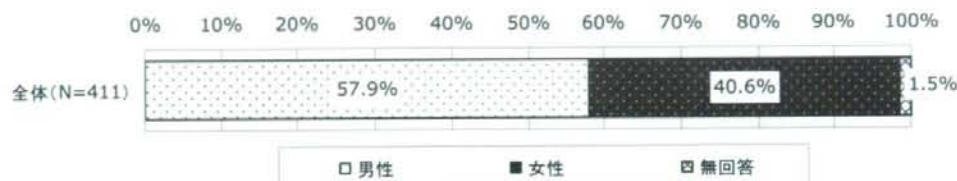
### 1) 利用者の属性

#### (1) 性別・年齢

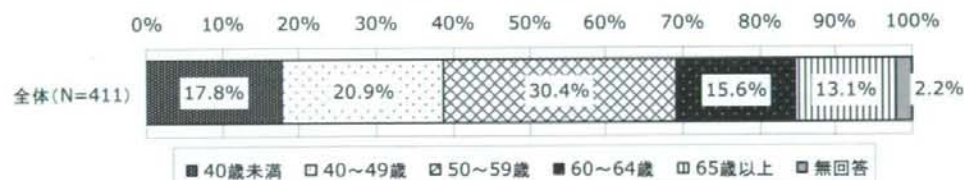
平成21年1月26日から2月8日までの2週間に、回答病院が複数名による精神科訪問看護を実施した利用者411名の属性についてみる。

性別は「男性」57.9%、「女性」40.6%であった。また、平均年齢は51.8歳であり、「50～59歳」30.4%、「40～49歳」20.9%などとなっていた。

図表 3-2-1 性別



図表 3-2-2 年齢



#### (2) 精神疾患の状況

##### ① 診断名

診断名（副たる診断名を含む）についてみると、「統合失調症」82.0%が最も多く、次いで「その他」8.5%、「気分障害」10.0%などとなっていた。

図表 3-2-3 診断名【MA】

|             | 利用者数 | 割合    |
|-------------|------|-------|
| 統合失調症       | 337  | 82.0% |
| 気分障害        | 41   | 10.0% |
| 依存症         | 21   | 5.1%  |
| 発達障害        | 20   | 4.9%  |
| 神経症性障害、人格障害 | 13   | 3.2%  |
| その他         | 35   | 8.5%  |
| 無回答         | 9    | 2.2%  |
| 総 数         | 411人 |       |